



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 東京精密

上場取引所 東

コード番号 7729 URL <http://www.accretech.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 吉田 均

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 CFO (氏名) 川村 浩一

TEL 042-642-1701

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	19,841	0.4	3,134	22.3	3,354	18.8	2,551	11.5
30年3月期第1四半期	19,912	22.0	4,033	40.9	4,129	59.5	2,884	53.8

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 1,545百万円 (50.3%) 30年3月期第1四半期 3,111百万円 (120.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	61.43	60.96
30年3月期第1四半期	69.56	69.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	132,615	98,813	73.7
30年3月期	132,893	99,354	74.0

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 97,802百万円 30年3月期 98,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		41.00		51.00	92.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		57.00		57.00	114.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 31年3月期第2四半期末と同期末配当(予想)につきましては、それぞれ創業70周年記念配当10円(年間20円)を含んでおります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,000	12.2	8,500	4.7	8,500	6.0	6,400	0.7	154.00
通期	98,000	11.1	17,500	1.3	17,500	1.1	12,800	0.6	308.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	41,586,981 株	30年3月期	41,575,881 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	36,314 株	30年3月期	36,251 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	41,543,976 株	30年3月期1Q	41,465,728 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想のご利用にあたっては、添付資料1「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では堅調な個人消費や設備投資を背景に景気拡大が続き、日本でも個人消費持ち直しや設備投資の増加を背景に安定した回復基調が続きました。一方で欧州では個人消費伸び悩みなどで景気拡大ペース鈍化の兆しが見られ、中国では景気は底堅く推移しているもののインフラ関連投資の減速基調が続き、更に米国との貿易摩擦など、下振れに繋がるリスクが存在する状況となっています。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、受注高281億99百万円（前年同期比26.1%増）、売上高198億41百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益31億34百万円（前年同期比22.3%減）、経常利益33億54百万円（前年同期比18.8%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億51百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下の通りです。

【半導体製造装置部門】

半導体製造装置部門では、データ大容量化やストレージ需要の拡大に伴うメモリ関連の投資、車載用途のMCU・パワーデバイス関連の投資、およびスマートフォン高機能化やIoT、AI進展に伴うディスプレイドライバ・電子部品・センサ向けの投資などが堅調に推移した結果、当社装置の受注は堅調に推移しました。一方で一部部材の納入遅延、それに伴うコスト発生などにより、売上高及び利益は前年同期と比べ減少しました。

当部門における当四半期の受注高は193億39百万円（前年同期比28.7%増）、売上高は128億22百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は16億30百万円（前年同期比48.1%減）となりました。

【計測機器部門】

計測機器部門では、主要ユーザーである自動車関連業界が引き続き内外での生産効率向上に向けた生産革新のための新規設備投資を積極的に進めました。また工作機械需要も内外ともに堅調であるほか、航空機向け需要も堅調さを維持しました。こうした環境を背景に、当社装置の受注高及び売上高並びに営業利益は前年同期と比べ増加しました。

当部門における当四半期の受注高は88億59百万円（前年同期比20.9%増）、売上高は70億18百万円（前年同期比23.4%増）、営業利益は15億3百万円（前年同期比67.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【資産、負債及び純資産の状況】

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億77百万円減少し、1,326億15百万円となりました。増減の主な要因は、仕掛品、原材料など棚卸資産の増加43億68百万円、受取手形及び売掛金、電子記録債権の減少34億84百万円、未収消費税等の減少10億14百万円等であります。

当第1四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ2億63百万円増加し、338億2百万円となりました。増減の主な要因は、支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加17億75百万円、未払法人税等の減少22億23百万円等であります。

当第1四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べ5億40百万円減少し、988億13百万円になりました。この結果、自己資本比率は73.7%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、主に半導体製造装置事業における、部材調達価格の上昇、製品・仕掛在庫の想定以上の増加に伴う会計影響などにより、平成30年5月15日に公表いたしました業績予想を以下の通り修正いたします。

	第2四半期連結累計期間	通 期
売上高	490億円(前年同期比12.2%増)	980億円(前年同期比11.1%増)
半導体	345億円(前年同期比13.7%増)	684億円(前年同期比14.9%増)
計測	145億円(前年同期比8.9%増)	296億円(前年同期比3.2%増)
営業利益	85億円(前年同期比4.7%減)	175億円(前年同期比1.3%増)
経常利益	85億円(前年同期比6.0%減)	175億円(前年同期比1.1%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	64億円(前年同期比0.7%増)	128億円(前年同期比0.6%増)

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、内外の経済状況、為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。これらは、市況、競争状況、新製品の導入及びその成否を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益は、記載されている予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,220	36,929
受取手形及び売掛金	28,005	23,250
電子記録債権	5,434	6,705
商品及び製品	1,918	1,837
仕掛品	15,223	18,940
原材料及び貯蔵品	5,183	5,915
その他	2,146	1,067
貸倒引当金	△ 142	△ 116
流動資産合計	94,990	94,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,998	13,827
その他（純額）	10,259	10,249
有形固定資産合計	24,258	24,076
無形固定資産		
のれん	185	159
その他	1,671	2,187
無形固定資産合計	1,857	2,346
投資その他の資産		
その他	11,787	11,663
貸倒引当金	△ 0	△ 0
投資その他の資産合計	11,787	11,663
固定資産合計	37,902	38,086
資産合計	132,893	132,615

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,200	8,806
電子記録債務	13,670	14,840
短期借入金	1,300	1,300
未払法人税等	3,254	1,030
引当金	1,248	630
その他	5,133	6,512
流動負債合計	32,807	33,120
固定負債		
役員退職慰労引当金	139	35
退職給付に係る負債	542	557
その他	49	88
固定負債合計	731	682
負債合計	33,538	33,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,561	10,575
資本剰余金	21,579	21,592
利益剰余金	62,105	62,539
自己株式	△ 118	△ 118
株主資本合計	94,128	94,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,564	1,081
為替換算調整勘定	811	350
退職給付に係る調整累計額	1,858	1,781
その他の包括利益累計額合計	4,234	3,214
新株予約権	623	628
非支配株主持分	368	382
純資産合計	99,354	98,813
負債純資産合計	132,893	132,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	19,912	19,841
売上原価	11,817	11,933
売上総利益	8,094	7,907
販売費及び一般管理費	4,060	4,773
営業利益	4,033	3,134
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	28	30
為替差益	40	108
補助金収入	20	47
その他	12	41
営業外収益合計	106	235
営業外費用		
支払利息	5	8
その他	5	6
営業外費用合計	11	14
経常利益	4,129	3,354
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益	4,129	3,357
法人税、住民税及び事業税	1,348	1,006
法人税等調整額	△ 112	△ 215
法人税等合計	1,236	790
四半期純利益	2,892	2,566
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,884	2,551

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	2,892	2,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△ 482
為替換算調整勘定	226	△ 461
退職給付に係る調整額	△ 21	△ 76
その他の包括利益合計	219	△ 1,021
四半期包括利益	3,111	1,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,103	1,531
非支配株主に係る四半期包括利益	8	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第 28 号 平成 30 年 2 月 16 日)等を当第 1 四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第 1 四半期連結累計期間(自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 6 月 30 日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	14,222	5,689	19,912	19,912
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	14,222	5,689	19,912	19,912
セグメント利益	3,138	895	4,033	4,033

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第 1 四半期連結累計期間(自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 6 月 30 日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	12,822	7,018	19,841	19,841
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	12,822	7,018	19,841	19,841
セグメント利益	1,630	1,503	3,134	3,134

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。